

北海道胆振東部地震による停電について

2018年9月06日、3時07分北海道胆振地方中東部を震源としてMj 6.7の地震が発生しました。

地震発生直後には震度データの入電しない地点があり、安平町で観測された震度6強を最大震度と発表していましたが、その後、厚真町鹿沼で震度7を観測していたことがわかりました。

地震により苫東厚真火力発電所をはじめとする北海道内全ての火力発電所が緊急停止した影響により北海道全域約295万戸で停電が発生いたしましたが、弊社カンパニー本社である東相内事務所では、中核充填所として認定されており、設置されている発電機を稼働させ近隣住民へのスマートフォン等の充電サービスや、タクシーの充填等を行いながら緊急時対応を行いました。

販売店様や、一般のお客様も今回の停電により災害意識が高まったと感じております。また、今後最悪な冬の停電を想定し、ポータブルストーブや発電機の間い合わせも増加しております。

そんな中、面白い記事を発見しましたので、ご紹介させていただきます。大地震の被災地で自分自身が被災者なのに、被災していることを感じさせない行動がSNSで話題になりました。

1. 冷蔵庫が停止してしまっただため、肉が解凍されるのを逆手に、炭をおこして ジンギスカンや焼き肉を行った。



2.被災しているのに、星空観賞を行い天の川がきれいだとか・・・とてもおおらかな道民！



3.洞爺湖では、停電と断水が続く状況の中花火大会が決行された。

北の大地に住む私たち北海道民、何事にも動じず、合理的に考える！これは北海道の県民性なのではないでしょうか？



私たちもエネルギーサービスのプロとしてお客様以上に防災意識を持ち、災害時等の緊急時には、今回の災害を基にお役に立てるような情報を発信していきたいと思えます。

2018年度 第2回あすとも保安研修会

今年度第2回目のあすとも会保安研修会を10月19日、弊社の北海道カンパニー会議室にて開催させていただきます。

詳細については別途お知らせさせていただきますが、研修時に自記圧力計の比較検査を行いますのでお忙しい事と思いますが、たくさんのご参加をお待ちしております。
($\pm 0.2\text{kPa}$ 以内を合格、不合格の場合は調整をします。)

今年最後の研修となりますので、大変お忙しいとは思いますが、たくさんのご参加お待ちしております。

